

# CSAJ 活動 pickup

2018年1月～2018年6月



一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

# CSAJ 活動 pickup

---

2018 年 1 月～2018 年 6 月

2018 年 1 月から 2018 年 6 月までに行った主な活動を pickup してご紹介します。

本誌では、委員会・研究会活動等のうち、企画・実施したもの、調査・研究を行ったものなどを中心に、事務局の各担当がとりまとめました。なお、委員会・研究会活動の経過内容等については割愛していますが、ご興味・ご関心を持たれた活動ありましたら、ぜひご参画ください。

## 内容

政策提言・意見交換 .....	2
視察・海外出展 .....	3
イベント .....	4
ビジネスマッチング .....	10
情報提供セミナー・説明会 .....	12
ニュースリリース .....	24
報告書 .....	26
実施事業 .....	28

## 政策提言・意見交換

平成 30 年 2 月 27 日 (火)

### 経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課と定例意見交換会を実施

平成 30 年 2 月 27 日 (火)、山王健保会館にて、経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課との定例意見交換会を行いました。(参加：経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 10 名、CSAJ 側 10 名)

本意見交換会は、定期的に CSAJ 幹部(会長・副会長等)と経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課が情報や課題等を共有することにより、今後の施策策定の一助とすることなどを目的として実施されています。今回経済産業省からは、税制改正情報やサービス等生産性向上 IT 導入支援事業、IT 人材育成に係る動き、日米通商関係の最近の動向などについて説明がありました。

CSAJ 側からは、データ適性消去実行証明事業や「高度 IT 技術を活用したビジネス創造プログラム」の進捗状況、finTechWG の活動報告、官民データプラットフォームに関する要望などについて説明を行い、その後、ざっくばらんな意見交換を実施しました。

平成 30 年 3 月 15 日 (木)

### 経済産業省と IT 導入補助金における IT ツール登録について意見交換

平成 30 年 3 月 15 日 (木)、CSAJ バックオフィス生産性 WG でとりまとめた「Connected Industries」の実現に向けたバックオフィス最適化の重要性と対策などの提言について、経済産業省 商務情報政策局 情報経済課と情報共有および意見交換を行いました。

平成 30 年 3 月 28 日 (水)

### 経済産業省へ IT 導入補助金における手続き面の課題について意見を提出

必要とされる証憑要件の合理的な範囲の緩和など、IT 導入補助金における手続き面での課題について、中小企業 IT 活用支援 WG で意見をとりまとめ、平成 30 年 3 月 28 日 (水)、経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課へ提出しました。

平成 30 年 5 月 9 日 (水)

### 経済産業省とレガシーシステム刷新に関する意見交換を実施

平成 30 年 5 月 9 日 (水)、CSAJ 事務局は、レガシーシステムの刷新と施策について、経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課と意見交換を行いました。

平成 30 年 5 月 9 日 (水)

### 経済産業省と IT 導入補助金における IT ツール登録について意見交換

平成 30 年 5 月 9 日 (水)、CSAJ と JCSSA の 2 団体事務局は、IT 導入補助金に係る IT ツール登録における課題について経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課と情報共有および意見交換を行いました。

平成 30 年 6 月 5 日 (火)

### IT コーディネータ協会と中小企業共通 EDI および金融 EDI について意見交換

平成 30 年 6 月 5 日 (火)、IT コーディネータ協会からの要望に基づき、EDI に関わるパッケージ企業数を招聘、IT コーディネータ協会より 2018 年 3 月に終了した「中小企業次世代データ連携事業の成果報告」と中小企業共通 EDI 普及協力に関する説明が行われ、その後、意見交換を行いました。

平成 30 年 6 月 18 日 (月)

### 経済産業省へ IT 導入補助金申請手続き等に関する改善要望を提出

補助事業者との承認・確認作業の簡素化や登録申請システムの改善など、IT 導入補助金申請手続き等に関する改善要望について、中小企業 IT 活用支援 WG で要望事項をとりまとめ、平成 30 年 6 月 18 日 (月)、経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課へ提出しました。

## 視察・海外出展

### 小学校の現場からプログラミング教育の実態を知る in 千葉県柏市

(主催：プログラミング教育委員会)

開催日：平成30年1月26日(金)、会場：柏市立柏第三小学校、参加実績：参加5社9名

プログラム：授業見学 第6学年 理科「電気の性質とその利用 センサーのプログラミング」

千葉県柏市におけるプログラミング教育について

CSAJ プログラミング教育委員会の取組みについて

大阪府高石市教育委員会からの説明

意見交換

詳細レポート：[http://www.csaj.jp/NEWS/committee/pge/180126\\_kashiwareport.html](http://www.csaj.jp/NEWS/committee/pge/180126_kashiwareport.html)



# イベント

平成 30 年 1 月 17 日 (水)

## 平成 30 年 新年賀詞交歓会

開催に先立ち、CSAJ 会長 荻原紀男より皆様への新年の挨拶があり、CSAJ 働き方改革宣言をはじめとする昨年の CSAJ の活動について述べ、今年は次年度のサービス産業向けの IT 導入補助金が大幅に増加するため、IT 事業者である会員企業の皆様に協力をお願いしたいということ、そして、新しい事業としてデータ消去証明のための任意団体を設置すること、さらには第四次産業革命に入り、コネクティッドインダストリーズの世界が訪れるなど述べ開会しました。

その後、ご来賓を代表して、日頃業界活動や当協会の活動に多大なるご支援をいただいております経済再生担当大臣 茂木敏充様、経済産業副大臣 武藤容治様、そして衆議院議員 平井卓也様にそれぞれご挨拶を頂戴いたしました。茂木敏充経済再生担当大臣からは、今年はドッグイヤーと言われるように、変化の速い年であり、第四次産業革命の様々な変化が予想される中、ご来場の皆様におかれては、さらにその上に行くスピードに乗り、飛躍の年となることを祈念したいとお言葉を頂戴しました。武藤容治経済産業副大臣からは、昨年の税制改正や次世代を担う IT 人材育成施策、働き方改革など、経済産業省が行う施策について述べられ、CSAJ 会員企業の皆様さらなる発展を祈念する、とのお言葉を頂戴しました。平井卓也衆議院議員からは、物事が次々と変わりゆくデジタル社会の中で、皆様とともにその変化をチャンスにしていきたい、とのお言葉を頂戴しました。

その後、富士通株式会社の中野克己執行役員からは、第四次産業革命社会の中では一社で出来ることには限界があり、皆様と手を携え、Co-creation しながら、日本の成長発展に寄与したい、とご挨拶をいただいたあと乾杯のご発声を頂戴し、宴が始まりました。開会後は、ご参加いただきました皆様による、新年のご挨拶や名刺交換、意見交換など大変活発な交流が行われました。

中締めは、水谷学筆頭副会長による一本締めで、平成 30 年新年賀詞交歓会は閉会いたしました。

当日は、ご来賓の方々、国内外の業界関係の方々、そして CSAJ 会員企業の皆様など約 600 名にご参加いただき大変盛況な会となりました。



# イベント

平成 30 年 2 月 2 日(金)

## 事業プライム化への会社改革セミナー & CSAJ 会員懇親会 in OSAKA

平成 30 年 2 月 2 日 (金)、ホテルモントレ大阪にて「事業プライム化への会社改革セミナー & CSAJ 会員懇親会 in OSAKA」を開催しました。

セミナーでは、株式会社豆蔵 代表取締役社長 中原 徹也 氏より、「多重下請構造からの脱却・プライム化への道筋 -営業主導での会社改革（営業思考の変革、CRM/RPA の導入）- 」と題して、ご講演をいただきました。（参加：29 社 53 名）

セミナー後の会員懇親会では、はじめに、荻原紀男 CSAJ 会長より挨拶があり、その後、ご来賓の経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部長 奥山 剛 様にご挨拶および乾杯のご発声を頂戴し、宴が始まりました。

当日は、ご参加いただきました 33 社 57 名の会員、関係企業、関係団体の皆様によるご挨拶や名刺交換、意見交換など大変活発な交流が行われ、会の終盤では、OSK 日本歌劇団によるレビューショーなども楽しみいただきました。

中締めは、豊田崇克副会長による大阪三本締めが行われ、CSAJ 会員懇親会 in OSAKA は、大変盛況のうちに、終了しました。



# イベント

平成 30 年 4 月 24 日 (火)

## 第 6 回 CSAJ 幹部と新入会員との懇親会 (主催：総務委員会)

平成 30 年 4 月 24 日 (火)、平成 29 年度下半期入会企業の皆様と総務委員会メンバーを中心とする幹部陣との第 6 回 CSAJ 幹部と新入会員との懇親会が「山王健保会館」で開催されました。

当日は、15 社/20 名の新入会員企業様にご参加いただき、幹部陣含め、総勢 36 名の参加となり盛況な懇親会になりました。

会は、荻原会長をはじめとした幹部陣の紹介から始まり、荻原会長による乾杯のご挨拶、参加企業様の紹介と各社からの 1 分スピーチなども行われ、大変和やかな雰囲気の中、水谷筆頭副会長の中締めで終了しました。

当日ご参加いただいた新入会企業の皆様は以下の通りです。

- 株式会社 AMBC
- エスエイティーター株式会社
- 株式会社応用電子
- 株式会社オン・アンド・オン
- 株式会社キャップインフォ
- 株式会社ココスペース
- 株式会社コプロシステム
- 株式会社シー・エヌ・エス
- 凸版印刷株式会社
- トリムマーク株式会社
- 株式会社トレイル
- 株式会社日本クラウドキャピタル
- 株式会社ネットウイズ
- 株式会社マルチブック
- 六元素情報システム株式会社



荻原会長のご挨拶



出席幹部紹介



中締めの挨拶：水谷筆頭副会長



自社紹介をする参加企業の方々



懇親会場の様子

# イベント

平成 30 年 5 月 19 日 (土)

## 第 8 回 CSAJ 会長杯親睦会 (主催：交流委員会)

平成 30 年 5 月 19 日 (土)、第 8 回 CSAJ 会長杯親睦会が、裾野カンツリー倶楽部で開催されました。

当日はプレー開始時には雨も止み、晴れて気温も上がった碧空の下、総勢 38 名の皆さまが参加されました。

今回は、日本を代表するシニアプロトーナメントである PGA シニアツアー ファンケルクラシックでも利用されるコースで、皆さま日頃鍛えた腕前を競いつつ、ビジネスやプライベートの話などで親睦を深めていました。

プレー後は、表彰式と懇親会が行われ、第 8 回会長杯親睦会は、盛況のうちに終了しました。





# イベント

平成 30 年 6 月 13 日 (水)

## 平成 30 年度 第 33 回定時総会・会員集会・特別講演・懇親会

去る、平成 30 年 6 月 13 日、ホテルオークラ東京において、第 33 回定時総会、会員集会、特別講演、定時総会懇親会が開催されました。

### ■ 定時総会

第 33 回定時総会は、荻原紀男会長が議長となり、議案の審議に入りました。

#### <決議事項>

- 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告および決算報告承認の件
- 第 2 号議案 定款の一部改訂(案)承認の件
- 第 3 号議案 平成 30 年度・31 年度 理事および監事の選任について

#### <報告事項>

- 1. 平成 30 年度事業計画書および収支予算書について
- 2. 平成 30 年度 CSAJ 役員功労賞の受賞者発表

審議の結果、第 1 号議案、第 2 号議案、第 3 号議案は原案通り承認されました。なお、出席者数は 400 名でした。

総会終了後、平成 30 年度 CSAJ 役員功労賞の授賞式が行われました。受賞者は以下のとおりです。

- ▼平成 30 年度 「CSAJ 役員特別功労賞受賞者」受賞者  
竹原 司 様 (株式会社デザイン・クリエイション)
- ▼平成 30 年度 「CSAJ 役員功労賞受賞者」受賞者  
五十木 正 様 (株式会社ワークスアプリケーションズ)  
金成 葉子 様 (株式会社シー・シー・ダブル)  
田中 聡 様 (株式会社マイクロソフトウェア)  
中道 泰隆 様 (JB アドバンスド・テクノロジー株式会社)  
平野 高志 様 (ブレイクモア法律事務所)

受賞者の皆様おめでとうございます。

### ■ 会員集会

総会終了後に行われた臨時理事会によって互選された、以下の役員が紹介されました。

- 代表理事 会長 荻原 紀男  
(株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長)
- 代表理事 筆頭副会長 水谷 学  
(ピー・シー・エー株式会社 代表取締役社長)
- 副会長 青野 慶久  
(サイボウズ株式会社 代表取締役社長)
- 副会長 伊藤 裕二  
(株式会社フォーラムエイト 代表取締役社長)
- 副会長 田中 邦裕  
(さくらインターネット株式会社 代表取締役社長)
- 副会長 田中 啓一  
(日本事務器株式会社 代表取締役社長 兼 CEO & CIO)
- 副会長 豊田 崇克  
(ネクストウェア株式会社 代表取締役社長)
- 副会長 山本 祥之  
(株式会社インテリジェント ウェイブ 特別顧問)
- 業務執行理事・専務理事 笹岡 賢二郎  
(一般社団法人コンピュータソフトウェア協会)
- 名誉会長 和田 成史  
(株式会社オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長)



# イベント

名誉顧問 襟川 恵子  
(コーエーテックホールディングス株式会社 代表取締役会長)  
フェロー 竹原 司  
(株式会社デザイン・クリエイション 最高顧問)  
フェロー 平野 高志  
(ブレイクモア法律事務所 弁護士)  
フェロー 前川 徹  
(東京通信大学 情報マネジメント学部 学部長教授)

## ■ 特別講演

会員集会後に「IoT、AI、データドリブン、プロスポーツでの先進活用事例に学ぶ！」と題し、特別講演が開催されました。講演では、サッカーを具体例にとり、IoTやAI、データドリブンがどのように物事を変えていくのか、スポーツ界からビジネス界に応用できる示唆やポイントについてお話いただきました。

スポーツもビジネスも、パフォーマンスという視点では同じであり、正確なデータがしっかり取れば、その分析からパフォーマンスの向上につなげることができる。世の中の変化、つまり「非連続のイノベーション」の考察によって、何をどのような方向へ変えていくのかを判断し、実際に変えた者が成功していくのである、ということをご説明いただきました。総勢 200 名を超える聴講者の皆様は大変熱心に聞き入り、盛況な講演会となりました。

## ■ 懇親会

第 33 回定時総会・特別講演が終了した後、ホテルオークラ東京別館地下 2F「アスコットホール」に場所を移し、第 33 回定時総会懇親会が開催されました。

懇親会の開催に先立ち、総会で承認された新役員が紹介されました。

そして、再任となった荻原紀男会長より、33 年目に突入した CSAJ の活動の中で新しく始まったデータ消去事業の紹介と、IT 補助金の活用について説明が行われ、また、内需に依存せず、サービスや製品を海外展開し、海外の企業とともに IT を売り込むといった精神を忘れずに、どんな景気でも IT 業界は常に世界を引っ張っていくという自負を持って、業界全体でこの国の未来を発展させていきたいと述べ、開会しました。

引き続き、ご来賓の代表として、経済産業大臣政務官 平木大作様にご挨拶を頂戴しました。続いて、衆議院議員 高井崇志様、衆議院議員 田野瀬太道様のご紹介の後、衆議院議員 甘利明様よりご挨拶いただき、日本電気株式会社 執行役員 西村知泰様による乾杯のご発声で宴が始まりました。

懇親会にはご来賓、業界関係の方々をはじめ、CSAJ 会員の皆様など 400 名を超えるご来場者を迎え、活発なご歓談が繰り広げられました。また、会の途中では、平成 30 年度 CSAJ 役員功労賞受賞者の皆様のご紹介がありました。受賞された皆様おめでとうございます。

懇親会は、大変盛況のうちに中締め時間となり、田中啓一副会長による中締めで、閉幕しました。ご多忙の折、ご参加いただきました皆様におかれましては、誠にありがとうございました。



# ビジネスマッチング



## 第 126 回アライアンスビジネス交流会 (主催: 交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日時: 平成 30 年 2 月 8 日 (木) 会場: 山王健保会館 会議室

参加実績: 29 社 44 名

特別講演: 1. 函館の魅力と産学官金連携, AI・IoT の取り組み

谷口 諭 氏 (函館市経済部長)

2. 国内の人工知能のメッカ「はこだて未来大」

鈴木 恵二 氏

(公立はこだて未来大学 教授・未来 AI 研究センター 副センター長)

3. 函館に IT 開発拠点を設立して 3 年, これまで取り組んできたこと

志賀 厚介 氏 (株式会社ビックボイス 執行役員 システム本部長)

プレゼンテーション 1: [株式会社高速屋](#)

発表製品分類: 製造業向け予測分析

発表製品名: IBM SPSS Modeler

プレゼンテーション 2: [パルスセキュアジャパン株式会社](#)

発表製品分類: IT セキュリティ

発表製品名: セキュアアクセス・ソリューション

プレゼンテーション 3: [クオリティソフト株式会社](#)

発表製品分類: IT 資産管理、エンドポイントセキュリティ対策、クラウドサービス

発表製品名: 「ISM CloudOne」と関連サービス

プレゼンテーション 4: [SATORI 株式会社](#)

発表製品分類: クラウド型のマーケティングソフトウェア

発表製品名: マーケティングオートメーションツール「SATORI」



## 第 127 回アライアンスビジネス交流会 (主催: 交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日時: 平成 30 年 4 月 25 日 (水) 会場: 山王健保会館 会議室

参加実績: 29 社 43 名

プレゼンテーション 1: [株式会社マルチブック](#)

発表製品分類: クラウド型 ERP

発表製品名: multibook

プレゼンテーション 2: [株式会社システムエグゼ](#)

発表製品分類: ソフトウェアテスト用疑似データ生成ツール

発表製品名: テストエース

プレゼンテーション 3: [サイバートラスト株式会社](#)

発表製品分類: プラットフォームサービス

発表製品名: サイバートラスト オンライン本人確認プラットフォームサービス

プレゼンテーション 4: [東京システムハウス株式会社](#)

発表製品分類: 企業向けコミュニケーション力向上ツール

発表製品名: あいさつトレーナー for Pepper/Sota



# ビジネスマッチング



## 第 128 回アライアンスビジネス交流会 (主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日時：平成 30 年 6 月 19 日 (火) 会場：山王健保会館 会議室

参加実績：27 社 44 名

プレゼンテーション 1：[アイスタディ株式会社](#)

発表製品分類：組込型ビデオコミュニケーション SDK (配信基盤付き)

発表製品名：Agora.io ビデオ通話・ライブ配信 SDK

プレゼンテーション 2：[株式会社シーピーユー](#)

発表製品分類：建築 3 次元 CAD システム

発表製品名：A's (エース)

プレゼンテーション 3：[リアルネットワークス株式会社](#)

発表製品分類：マシンラーニング (ML) を用いた顔認証 AI ソフトウェア

発表製品名：RealCV

プレゼンテーション 4：[アライドテレシスアカデミー株式会社](#)

発表製品分類：サイバーセキュリティ高度人材の育成

発表製品名：ISACA CSX



## CSAJ/JASPA/JIET/IVIA 共催 ビジネスマッチング商談会

(主催：ビジネスマッチング研究会)

CSAJ と全国ソフトウェア協同組合連合会 (JASPA)、日本情報技術取引所 (JIET)、IT 検証産業協会 (IVIA) の 4 団体共催によるビジネスマッチング商談会

開催日時：平成 30 年 3 月 9 日 (金) 会場：山王健保会館 会議室

参加実績：80 名



# 情報提供セミナー・説明会

## 政策

### 第 29 回経営力向上セミナー (主催：経営力向上研究会)

開催日：平成 30 年 3 月 20 日 (火)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：20 社 22 名  
タイトル：日本電機業界の衰退その失われた 20 年に学ぶ人間の退化 一何を忘れてしまったのかー  
講演者：原田 節雄 氏 (一般財団法人日本規格協会 技術顧問  
桜美林大学大学院経営学研究科 客員教授)  
講演概略：企業経営とは、家族経営と同じことであり、企業や家族の生命の維持と継続という点から、現在の日本企業が抱えている問題点 (失った過去) と、そのとるべき姿 (原理原則) を解説。

### 第 30 回経営力向上セミナー (共催：経営力向上研究会 & 働き方改革研究会)

開催日：平成 30 年 6 月 22 日 (金)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：15 社 15 名  
タイトル：働き方改革への業務改善事例と手法  
講演者：吉川 (きっかわ) 博章 氏 (経営品質協議会 (JQAC) セルフアセッサー、  
CompTIA CTT+ (トレーニング部門) 認定トレーナー、経営創研株式会社コンサルタント)  
講演概略：会社の日常の姿を振り返り、それをどのように無駄取り・合理化していくか、その方法論の一つである 4 つの合理化案 ECRS (Eliminate 排除、Combine 結合、Rearrangement 順序の変更、Simplify 単純化)を通じてどう変化させるかを解説。

## 法務・知財

### 第 28 回座談会 (主催：法務・知財委員会)

開催日：平成 30 年 3 月 8 日 (木)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：23 社 27 名  
タイトル1：IoT・AI 関連ビジネスを取り入れる際に生じる法務課題・知財課題とその対応策  
講演者：恩田 俊明 氏 (GVA 法律事務所 弁護士・弁理士)  
講演概略：IoT と AI の利活用が珍しくなくなってきた昨今、データの取扱を中心に、法務や知財の観点から新たな問題が生まれつつある。今後の実務でも直面しがちな点にスポットを当てて解説。  
タイトル2：最近の法務知財の旬な話題について  
講演者：黒住 哲理 氏、村田 和希 氏 (ブレイクモア法律事務所 弁護士)  
講演概略：法務知財の法改正動向等について、新しいトピックと引き続き注目すべきトピックを紹介。

### 第 29 回座談会 (共催：法務・知財委員会 & 働き方改革研究会)

開催日：平成 30 年 6 月 5 日 (火)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：13 社 15 名  
タイトル1：対応が迫られる働き方改革！時間外労働上限規制・同一労働同一賃金への対応  
講演者：中島 啓吾 氏 (首里社会保険労務士法人 社会保険労務士)  
講演概略：現在も国会で審議されている働き方改革関連法案。その中でも企業対応が必要な残業時間の上限規制や同一労働同一賃金などを中心に解説。  
タイトル2：最近の法務知財の旬な話題について  
講演者：黒住 哲理 氏、村田 和希 氏 (ブレイクモア法律事務所 弁護士)  
講演概略：法務知財の法改正動向等について、新しいトピックと引き続き注目すべきトピックを紹介。

# 情報提供セミナー・説明会

## 人材

### IoT はこのように役立つ！

#### 「IoT 導入の地方創生事例と教育方法指南」セミナー（主催：地方創生 IoT 支援研究会）

開催日：平成 30 年 3 月 12 日（月）、会場：CSAJ 会議室、参加実績：13 社 13 名 ライブ配信 23 名

タイトル1：新しい IoT ビジネスの創出(地方版 IoT 推進ラボ)

講演者：中村 慧 氏（独立行政法人情報処理推進機構(IPA)IT 人材育成本部  
イノベーション人材センター 地方版 IoT 推進ラボ事務局 主幹）

講演概略：地域における IoT ビジネス創出に向けた、イベントの企画・運営、取組成果の発信取組を行う「地方版 IoT 推進ラボ」について、本取組や先進事例を紹介。

タイトル2：先進事例に見る IoT 活用の事始めと教育始め ～データサイエンスの観点から～

講演者：加藤 大己 氏（富士通クラウドテクノロジーズ株式会社）

講演概略：データサイエンスの観点から、IoT 時代に求められるデータ活用のノウハウや取り組み方法について解説。

タイトル3：Raspberry Pi（ラズベリーパイ）の導入事例と教育方法

～手軽に導入できる IoT 装置をどのように活用するか～

講演者：大鋤 和樹 氏（イエスウィゴ代表）

講演概略：世界的に普及し安価に導入できるシングルボードコンピュータ Raspberry Pi の活用方法についての紹介。

### 人事担当者必見 新卒採用手法セミナー

#### ～就活生を呼び込み、Win-Win のマッチングを！～（主催：人材委員会主催）

開催日：平成 30 年 4 月 26 日（木）、会場：市ヶ谷健保会館会議室、参加実績：26 社 33 名

タイトル1：学生のインターンシップ状況調査及び新しいインターンシップの方法のご紹介

講演者：渡辺 裕子 氏（株式会社ナジック・アイ・サポート キャリア支援部 本部長）

講演概略：現状のインターンシップの実施状況や学生の状況・動向等を踏まえ、学生からの応募を待つのではなくスカウトする仕組みを紹介。

タイトル2：ブランディングにつながる育成採用インターンとは～これからのエンジニア採用手順～

講演者：牧口 和弘 氏（株式会社ココスペース 代表取締役）

講演概略：エンジニアを中心とした即戦力採用と、採用・教育に係るコスト削減の方法とポイントについて実例を基に開設。

タイトル3：超売り手市場での新卒採用の成功の要件

講演者：沖之城 雅弘 氏（株式会社 D Y M 取締役 人材事業本部 本部長）

講演概略：採用成功につながる 3 つの具体的なポイントを軸に説明。

タイトル4：専門学校卒採用の現状と採用手法

講演者：米澤 豊 氏（株式会社ビーアライブ 代表取締役）

講演概略：専門学校生の就職事情と採用における重要ポイントについて解説。

# 情報提供セミナー・説明会

## 人材

### 「インドの高度 IT 人材を日本へ！」

#### ～現地ジョブフェア/JAPAN DAY 開催報告会～ (主催：アジア等 IT 人材定着支援協議会)

開催日：平成 30 年 5 月 18 日 (金)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：25 社 28 名

タイトル1：外国人 IT 人材の受け入れに関する施策について

講演者：唐木 真 氏 (経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課)

講演概略：我が国経済の更なる活性化を図り、IT 分野において競争力を高めていくためには、海外の優秀な人材の我が国へ呼び込みは不可欠である。そのための経済産業省での取り組みについて紹介。

タイトル2：「Japan Career Fair in Pune(インド)」開催報告

講演者：小野田 重豪 氏 (フォースバレー・コンシェルジュ株式会社 執行役員)

講演概略：経済産業省・日本貿易振興機構 (JETRO) がインド・ブネにて開催した就職説明会について、運営を担当したフォースバレー・コンシェルジュが報告。

タイトル3：日本にはインドしかない！ ～日本の将来のためになすべきこと～

講演者：磯貝 富夫 氏 (シャープ・インド 前社長)

講演概略：少子高齢化が益々深刻となる日本の未来のために、長期的視点を持ってインドと盤石な友好関係を築くことの重要性を提言。

タイトル4：今が絶好のチャンス！海外トップ IT 人材の採用状況

講演者：柴崎 洋平 氏 (フォースバレー・コンシェルジュ株式会社 代表取締役社長)

講演概略：世界の人材採用状況、インド等世界から IT 人材を日本就労へと繋げる秘策を紹介。

#### 健康経営情報提供セミナー開催報告 (主催：健康経営推進研究会)

開催日：平成 30 年 5 月 22 日 (火)、会場：市ヶ谷健保会館、参加実績：30 社 48 名

タイトル1：「健康経営の推進について」

講演者：山本 宣行 氏

(経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア産業課 課長補佐)

タイトル2 「通勤時間等を活用した運動・スポーツ習慣づくり

～FUN+WALK PROJECT の推進～」

講演者：森田 なつき 氏

(スポーツ庁 健康スポーツ課連携推進係 専門職)

タイトル3：「ストレスチェック結果の分析とメンタルヘルス対策」

講演者：小出 建 氏

(株式会社フィスメック 代表取締役)

講演概略：健康経営に対する政府の取組状況、メンタルヘルスのストレスチェック分析について説明、健康経営をサポートする製品・サービスの展示。



## 情報提供セミナー・説明会

### 人材

#### **生産性向上訓練 プロジェクト管理技法の向上** (主催：人材育成研究会)

開催日：平成 30 年 6 月 6 日 (水) ~7 日 (木)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：9 社 25 名  
タイトル1：「いまさら聞けない情報化社会におけるプロジェクトマネジメント」研修  
講演者：高安 篤史氏 (株式会社サートプロ IoT 技術講師/中小企業診断士)  
講演概略：現代のプロジェクトマネジメントを理解することで、仕事の段取り力を高め、的確に業務指示を行うための手法を解説。

#### **平成 30 年度 第 1 回人材育成研究会レポート** (主催：人材育成研究会)

開催日：平成 30 年 6 月 20 日 (水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：23 社 33 名  
タイトル1：「IPA 人材白書 2018」概要説明  
講演者：山崎 江津雄氏 (独立行政法人情報処理推進機構 IT 人材育成本部 IT 人材育成企画部)  
タイトル2：i コンピテンシ ディクショナリ (iCD) の最新情報と今後の展開  
講演者：木田 徳彦氏 (株式会社インフォテック・サーブ 代表取締役/CSAJ 理事・iCD 研究会主査)  
タイトル3：平成 30 年度人材育成研究会の活動紹介  
主査：富田 伸一郎 (株式会社ウチダ人材開発センタ 常務取締役)

#### **第 6 期 i コンピテンシ ディクショナリ活用ワークショップ実施報告会**

(主催：iCD 研究会)

開催日：平成 30 年 3 月 19 日 (月)、会場：CSAJ 会議室 参加実績：20 社 31 名  
報告会概略：iCD 研究会では、独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) の協力の下、29 年度で 6 回目となる iCD 活用ワークショップについて、平成 29 年度第 6 期の参加企業 5 社の苦労話なども交えた実施報告会を開催。IPA から講評と iCD 活用のポイントを説明。

[2017 年度 第 6 期 iCD 活用ワークショップ実施報告書](#)

#### **i コンピテンシ ディクショナリ (iCD) の活用と事例紹介セミナー** (主催：iCD 研究会)

開催日：平成 30 年 5 月 24 日 (木)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：7 社 8 名  
タイトル1：iCD の活用実績と今後の展望  
講演者：遠藤 修氏 (一般社団法人 iCD 協会 シニアマネージャー)  
講演概略：iCD の活用実績と展望について、この春設立された一般社団法人 iCD 協会から解説。  
タイトル2：iCD 活用事例紹介  
講演者：村田 哲也氏 (株式会社オープンストリーム/iCD 活用企業認証 Gold★★取得、取締役 働き方改革/コンプライアンス担当)  
講演概略：実際に社内で iCD を活用されている企業が、Gold 認証を取得するまでの苦労した点等について解説。  
タイトル3：CSAJ における iCD 活動状況  
講演者：木田 徳彦氏 (iCD 研究会 主査、株式会社インフォテック・サーブ 代表取締役)  
講演概略：CSAJ での iCD 研究会、コミュニティ活動について説明。



## 情報提供セミナー・説明会

### 人材

#### 第7期 iCD 活用ワークショップ事前説明会 (主催: iCD 研究会)

開催日: 平成 30 年 6 月 29 日 (金)、会場: CSAJ 会議室 参加実績: 2 社 6 名

報告会概略: 第 7 期となる iCD 活用ワークショップの事前説明会が今期参加の 2 社に対して行われ、参加企業代表者による各社の参加目的の発表、講師からワークショップの内容、最終的なゴール (目的) の確認などが行われました。

なお、ワークショップは下記の日程で開催されます。

第 1 回 7 月 6 日 (金) 14:00~20:00 於: 多摩永山情報教育センター (合宿)

第 2 回 7 月 7 日 (土) 09:00~12:00 於: 多摩永山情報教育センター (合宿)

第 3 回 7 月 20 日 (金) 14:00~17:30 於: CSAJ 会議室

第 4 回 8 月 9 日 (木) 14:00~17:30 於: CSAJ 会議室

第 5 回 8 月 31 日 (金) 14:00~17:30 於: CSAJ 会議室

第 6 回 9 月 21 日 (金) 14:00~17:30 於: CSAJ 会議室

テイクオフミーティング 10 月 26 日 (金) 各社 1 時間 於: CSAJ 会議室

### 国際

#### 「アマゾンが描く 2022 年の世界」セミナー (主催: 国際委員会)

開催日: 平成 30 年 5 月 30 日 (水)

会場: CSAJ 会議室、参加実績: 27 社 31 名

タイトル 1: 「アマゾンが描く 2022 年の世界」

講演者: 田中 道昭氏

(立教大学ビジネススクール 大学院ビジネスデザイン研究科 教授/  
株式会社マーキングポイント 代表取締役社長)

講演概略: 近年の成長が著しい、米国 Amazon をテーマに、これまでの Amazon の事業展開、今後予測される展開など事例を用いて解説。



# 情報提供セミナー・説明会

## 技術

### Deep Learning のデメリット (主催：人工知能技術研究会)

開催日：平成 30 年 1 月 18 日 (木)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：35 社 37 名

タイトル：第 3 次人工知能ブームの終焉、第 4 次人工知能ブームの兆し  
～ディープラーニングのデメリットを理解する～

講演者：松本 健太郎 氏 (株式会社ロックオン マーケティングメトリックス研究所 所長)

講演概略：ディープラーニングに対する過大な評価、期待の熱を冷ますために、あえてディープラーニングのデメリットに目を向け、「2018 年時点で何ができないか」を解説。

### スクウェア・エニックスが語るエージェント型 AI

#### 「FINAL FANTASY XV」にみるリアルタイム AI 実装例 (主催：人工知能技術研究会)

開催日：平成 30 年 2 月 21 日 (水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：22 社 32 名

タイトル：リアルタイムでインタラクティブな人工知能

講演者：三宅 陽一郎 氏

(株式会社スクウェア・エニックス テクノロジー推進部 リード AI リサーチャー)

講演概略：『FINAL FANTASY XV』の AI 事例を確認しながら、リアルタイムかつインタラクティブで動作するエージェント型の人工知能について動画を交えて解説。

### エッジコンピューティングが AI を加速する (主催：人工知能技術研究会)

開催日：平成 30 年 3 月 28 日 (水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：40 社 45 名

タイトル：産業全般 (インダストリアル) におけるエッジの必然性

講演者：遠藤 雄太 氏 (FogHorn Systems)

講演概略：インダストリアル IoT、デジタルツイン、工場の AI 化など、きちんと使いこなし機能させるには何をしなくてはいけないのか、エッジコンピューティングというキーワードを元にデモを交えながら解説。

### AI 実装のためのハードウェア最新技術

#### - FPGA を活用したエッジコンピューティング実装例 - (主催：人工知能技術研究会)

開催日：平成 30 年 4 月 20 日 (金)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：19 社 20 名

タイトル：AI 向けハードウェアの動向 - エッジコンピューティングと FPGA -

講演者：寺田 英雄 氏 (株式会社オープンストリーム)

講演概略：社会実装のためのハードウェア技術開発が活発になってきているが、現状の NVIDIA 一強状況に対抗すべく、GAF A 各社をはじめとして盛んに推進されている独自プロセッサ開発の動向を概説。

### 計算機自然を実現する AI 技術 (主催：人工知能技術研究会)

開催日：平成 30 年 5 月 10 日 (木)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：36 社 48 名

タイトル：計算機自然へ：多様性のための視聴触覚テクノロジー

講演者：落合 陽一 氏 (ピクシーダストテクノロジーズ株式会社 代表取締役社長)

講演概略：身体ロボティクス・視聴覚・触覚に対して入出力の機械学習システムによるつなぎ込みと実環境に耐えるロバストな接続方法について試作及び実地検証などの事例を紹介するとともに、近年のアートとテクノロジーの融合した視座から見た論考を紹介。

## 情報提供セミナー・説明会

### 技術

#### 第3回 UX クリニック (主催：モバイルソリューション研究会)

開催日：平成30年3月13日(火)、会場：日本事務器株式会社 会議室、参加実績：3社  
メンター：安藤 幸央 氏 (株式会社エクサ コンサルティング推進部 担当課長/米国Google公認  
デザインスプリントマスター)

講演概略：モバイルアプリの評判が悪いけれどどこを直してよいか分からない、開発中システムについてUIやUXに関するアドバイスが欲しい、社内でUX向上を推進したいが上手くいかないなどの悩みについて、UXの専門家が無償で相談対応。

平成30年3月31日(土)

#### CSAJ ドローン・プログラミング・コンテスト

#### 最終審査会で受賞チーム決定！！

(主催：技術委員会 ドローン・プログラミング・コンテスト企画検討WG)

開催日：平成30年3月31日(土)、会場：慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス、参加実績：3チーム

概略：慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスにてドローン・プログラミング・コンテスト最終審査会を開催。応募4チーム、競技参加3チーム(1社辞退)での競技。

優勝：河野浩之(こうのひろゆき)氏

準優勝：慶應義塾大学武田研究室テクノプロ・デザイン社

3位：株式会社理経

上記結果を踏まえた「CSAJ ドローン・プログラミング・コンテスト」実施報告書については、以下のページから確認いただけます。

[ドローンプログラミングコンテスト 実施報告書](#)

#### 第1回 IoT 推進研究会セミナー

#### IoT システム開発時の課題と解決策！ (主催：IoT 推進研究会)

開催日：平成30年6月6日(水)、会場：山王健保会館会議室、参加実績：17社17名

タイトル：『安全安心なIoTの開発と検証の重要ポイント！』

～IoTの特徴をとらえた開発と品質確保の勘所を紹介～

講演者：宮原 真次 氏 (独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)

ソフトウェア高信頼化センター (SEC) 調査役)

講演概略：IPAソフトウェア高信頼化センター (SEC) より講師を招聘し、同センターより公開された「つながる世界の品質確保に向けた手引き」について解説。合わせて「つながる世界の品質確保チェックリスト」の適用事例の募集説明。

# 情報提供セミナー・説明会

## セキュリティ

### 給付金を使って高度 IT 人材のリカレント教育を実現

#### ～第四次産業革命スキル習得認定講座を学ぼう～ (共催：人材委員会 & セキュリティ委員会)

開催日：平成 30 年 3 月 29 日 (木)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：3 社

タイトル1：『第四次産業革命スキル習得講座 (Re スキル講座)』

講演者：蓑島 智大 氏 (経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 (IT イノベーション課))

講演概略：IT・データ分野を中心とした専門性・実践性の高い教育訓練講座を経済産業大臣が認定する「第四次産業革命スキル習得講座認定制度」について、制度の概要や申請時の注意点等について説明。

タイトル2：『セキュリティインシデント対応の専門家育成 ～ラック社員も学ぶ実践的講座～』

講演者：持田 啓司 氏 (株式会社ラック 事業戦略推進室 シニアエバンジェリスト)

講演概略：インシデント対応の基礎となる、マルウェア解析とデジタル・フォレンジックの二つの職務を、実機を用いた実習形式で説明。

タイトル3：『AI 活用講座、IoT 活用講座上級編のご紹介』

講演者：富田 伸一郎 氏 (株式会社ウチダ人材開発センタ 常務取締役)

講演概略：Deep Learning をはじめとした様々な AI 技術について学ぶ AI 活用講座、IoT の要素技術について総合的な開発実習を行う IoT 活用講座上級編の 2 つの講座を、実際の演習状況を交えて紹介。

タイトル4：『第 4 次産業革命を担うビジネス創造人材の育成について』

講演者：笹岡 賢二郎 (一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 専務理事)

講演概略：CSAJ で 7 月に開講を予定している、AI、IoT、セキュリティ、ビッグデータといった IT に関する最新技術を駆使し、新たな発想 (デザイン思考・アジャイル) でビジネスを創造できる高度 IT エンジニアを育成することを目的とした教育プログラムについて解説。

## ビジネス拡大

### 「経営革新計画」セミナー (主催：助成金等活用研究会)

開催日：平成 30 年 5 月 23 日 (水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：19 社 23 名

タイトル1：経営革新計画作成のポイント

講演者：三橋 心 氏 (中小企業診断士 事業再生マネージャー)

講演概略：承認を得ると補助金が採択される可能性が飛躍的に高くなる「経営革新計画」のポイントを詳しく説明。

タイトル2：知らないと損する！ ～最小のリスクで最大の効果を上げる助成金・補助金活用術～

講演者：前田 啓佑 氏 (株式会社ナビット コーポレート事業部)

講演概略：事例などを踏まえ、助成金の活用方法・効果的な使い方等の情報を共有。

## 情報提供セミナー・説明会

### ビジネス拡大

#### **第2回 BtoB マーケティングセミナー**（主催：BtoB マーケティング研究会）

開催日：平成30年2月1日（木）、会場：CSAJ 会議室、参加実績：18社26名

タイトル：「マーケットリーダー」と「ニッチャー」

それぞれのポジショニングにおけるマーケティング戦略について

講演者：小川 泰範氏（株式会社リンク マーケティング部 マネージャー）

講演概略：マーケットにおけるリーダーとニッチャーの戦略について実体験と具体的な施策などについて解説。



#### **第3回 BtoB マーケティングセミナー**（主催：BtoB マーケティング研究会）

開催日：平成30年5月23日（水）、会場：CSAJ 会議室、参加実績：19社23名

タイトル：BtoB マーケティングにおけるブランドづくりとマーケティングミックス

～マーケティングリサーチから導いた上流工程の重要性とは～

講演者：吉田 将輝氏（株式会社ギブリー 執行役員）

講演概略：マーケティング KPI の設計、SWOT 分析と戦略から戦術への落とし込み、更に社内でのマーケティングチームの運用体制などについて実例を交えつつ紹介。



# 情報提供セミナー・説明会

## ビジネス拡大

### 営業組織力強化セミナー（主催：ビジネス拡大委員会）

開催日：平成30年3月1日（木）、会場：山王健保会館 会議室、参加実績：43社74名

タイトル1：信頼に応える経営を目指して ～ITで経営を変える～  
大戦略による経営改革のあゆみ

講演者：大塚 裕司 氏（株式会社大塚商会 代表取締役社長）

講演概略：IT活用による顧客管理、営業支援による顧客満足度向上など、  
営業プロセスの見える化を起点とした課題解決への取り組みについて紹介。



タイトル2：営業主導での利益体質強化への取り組み  
～プライム化への思い×営業個人力×組織力～

講演者：中原 徹也 氏（株式会社豆蔵 代表取締役社長）

講演概略：SI業界が直面する課題について、ビジネスの外部環境が変動する中、  
今まで以上にエンドユーザーに近いところで、プロジェクトを推進する必要があるとの解説。



タイトル3：SAP Business ByDesign 導入による営業改革推進  
～LINE×豆蔵チャットボットを連携させたソリューション～

講演者：川崎 嘉久 氏（SAP ジャパン株式会社 パートナー営業部長）

講演概略：数字で見るSAPで、クラウドビジネスの大幅な成長について解説。  
また、2018年の製品・パートナー・マーケティングの施策や、パートナー様への支援策  
（営業・マーケティング・技術教育等の支援活動）も紹介。



タイトル4：優秀な営業のノウハウを仕組み化する  
マーケティングオートメーション活用事例  
～24ヶ月で200社以上の新規顧客獲得を実現した、  
MAベンダーSATORIのマーケティング戦術～

講演者：植山 浩介 氏（SATORI株式会社 代表取締役）

講演概略：展示会やセミナー、webページの資料請求などにおける見込み客の情報について、  
匿名の見込み客情報を活用して、いかに新規顧客獲得に結びつけるかの施策を、  
該当顧客の可視化などいくつかの事例をもとに紹介。



タイトル5：IT導入補助金をはじめとする助成金活用上級編  
～助成金&データベース活用して、自社社材を拡販しよう！～

講演者：福井 泰代 氏（株式会社ナビット 代表取締役）

講演概略：平成29年度補正 サービス等生産性向上IT導入支援事業のIT導入補助金について、  
現時点で公開されている情報をもとに、他の補助金との違いや、利用の際の留意点、  
審査のポイントなどについて説明。



## 情報提供セミナー・説明会

### プログラミング教育

#### プログラミング教育に対する現場教職員の意識変化について～プログラミング出前授業実施後の感想～

プログラミング教育委員会では、昨秋に現場教職員を対象に、「情報教育に関するアンケート」を実施したところ、学校現場の先生はプログラミング教育に多くの課題・不安を感じている人が多いといった結果でした。プログラミング教育委員会のメンバーでもあるさくらインターネット株式会社では、CSR 活動の一環で、平成 29 年度よりプログラミング教育の出前授業を実施、授業を見学・体験した後の教職員を対象に、アンケートを実施したところ、「情報教育に関するアンケート」実施時期と比較して、先生方の考え方が、「不安」から「自分にもできそう」といった、前向きな思考に変わった様子が確認できました。

回答対象：出前授業を見学・体験した小学校の教職員

アンケート回答校：12 校（※）

回答者数：64 名

アンケート実施企業：さくらインターネット株式会社

アンケート結果：[http://www.csaj.jp/documents/NEWS/committee/pge/20180320\\_report.pdf](http://www.csaj.jp/documents/NEWS/committee/pge/20180320_report.pdf)

# 情報提供セミナー・説明会

## その他（企画）

### CSAJ の活動を知ろう・利用しよう

#### ～平成 30 年度活動方針及び研究会成果報告会～

開催日：平成 30 年 4 月 18 日（水）、会場：山王健保会館、参加実績：55 名  
ご挨拶：荻原 紀男（株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長／CSAJ 会長）  
挨拶概略：平成 30 年度の活動方針を交えたご挨拶が行われました。  
特別講演：柴田 和也 氏（経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課）  
講演概略：「生産性革命に向けて」というテーマで、IT を取り巻く状況、生産性革命に向けた法案整備や税制、IT 導入補助金などについて説明。  
委員会報告と研究会立ち上げに関する説明 <笹岡 賢二郎（CSAJ 専務理事）>

発表研究会	説明者（敬称略）
経営力向上研究会	松倉 泉（株式会社 Harness LLP）
働き方改革研究会	村瀬 正典（株式会社バース情報科学研究所）
ビジネスマッチング研究会	安田 敦（株式会社バリューソフトウェア）
BtoB マーケティング研究会	植山 浩介（SATORI 株式会社）
助成金等活用研究会	福井 泰代（株式会社ナビット）
人材育成研究会	富田 伸一郎（株式会社ウチダ人材開発センタ）
iCD 研究会	木田 徳彦（株式会社インフォテック・サーブ）
健康経営推進研究会	清水 通則（株式会社シーシーダブル）
地方創生 IoT 支援研究会	近森 満（株式会社サートプロ）
ソフトウェア品質向上研究会	望月 信昭（日本ナレッジ株式会社）
アジアビジネス研究会	CSAJ 事務局
人工知能（AI）技術研究会	CSAJ 事務局
自治体セキュリティ強化対策研究会	CSAJ 事務局
IoT 推進研究会	CSAJ 事務局
モバイルソリューション研究会	岡田 智義（日本事務器株式会社）

[配布資料は web よりご覧いただけます。（会員限定）](#)

[活動成果報告会ビデオアーカイブ（会員限定）](#)

- ・経済産業省資料
- ・活動 pickup のご紹介と研究会立ち上げについて
- ・研究会報告 1（経営力向上研究会、働き方改革研究会、ビジネスマッチング研究会、BtoB マーケティング研究会、助成金等活用研究会、人材育成研究会、iCD 研究会）
- ・研究会報告 2（健康経営推進研究会、地方創生 IoT 支援研究会、ソフトウェア品質向上研究会、アジアビジネス研究会、人工知能（AI）技術研究会、自治体セキュリティ強化対策研究会、IoT 推進研究会、モバイルソリューション研究会）





# ニュースリリース

平成 30 年 2 月 8 日 (木)

## CEATEC JAPAN 2018 – CPS/IoT Exhibition –

### 10 月 16 日(火)から 4 日間、幕張メッセにて開催決定

一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)、一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)、一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)、の 3 団体で構成する CEATEC JAPAN 実施協議会は、2018 年 10 月に「CEATEC JAPAN 2018」を幕張メッセ(千葉県美浜区)にて開催します。

平成 30 年 2 月 28 日 (水)

### 「データ適正消去実行証明協議会」設立 ～適正なデータ消去・プロセスに証明書を発行～

データの適正な消去のあり方を調査・研究し、その技術的な基準を策定するとともに、これに基づいてデータの適正消去が実行されたことを証明するための第三者的な証明制度の普及・啓発を図り、我が国における健全で安心安全な循環型 IT 社会の実現に寄与することを目的として活動、データ適正消去実行証明協議会 (Association of data Erase Certification : ADEC) を設立いたしました。

平成 30 年 3 月 30 日 (金)

### 中小企業での IT 利活用によるテレワーク実現に向けたガイドライン (在宅勤務編) を策定 –

昨年 2 月に公表した「働き方改革宣言」に基づき、働き方改革研究会がとりまとめた活動報告書の中で、中小企業での IT 利活用によるテレワーク実現に向けたガイドライン (在宅勤務編) を公表しました

平成 30 年 4 月 2 日 (月)

### CSAJ ドローン・プログラミング・コンテスト、最終審査会で受賞チーム決定！

CSAJ ドローン・プログラミング・コンテスト (ドローン・プログラミング・コンテスト企画検討 WG (WG リーダー：佐野勝大 株式会社ユビキタス 代表取締役社長)) は、平成 30 年 3 月 31 日 (土) 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスで最終審査会を行いました。

平成 30 年 4 月 2 日 (月)

### 「U-22 プログラミング・コンテスト 2018」の詳細決定

#### 全国小中学生プログラミング大会と連携、最終審査は同日同会場で開催！

U-22 プログラミング・コンテスト」を主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、2018 年度プログラミング・コンテストの応募要領を公開するとともに、2018 年版公式 Web サイトを 4 月 2 日にオープンしました。

来たる 2020 年、小学校におけるプログラミング教育必修化など、プログラミングのさらなる広がりを背景に、昨年は「小学生部門」を設置しましたが、2018 年は小学生部門に代わり、小中学生を対象とした「全国小中学生プログラミング大会 (略称：JJPC)」と連携、「アイデア (=創造) をカタチにする」という共通点と、それぞれのコンテストの特徴を生かした施策を検討するなど、更なる発展を目指します。

## ニュースリリース

---

平成 30 年 5 月 31 日 (木)

### データ適正消去実行証明書発行事業を開始

#### ～ADEC 消去ソフトウェアおよび消去プロセスの認証企業を募集～

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会は 2018 年 5 月 31 日より、データ適正消去実行証明書発行事業を開始します。この事業は消去ソフトウェアと消去サービス事業者と連携して行うため、同時にデータ消去ソフトウェア開発企業および消去サービス事業者を募集します。なお、本事業はデータ適正消去実行証明協議会基準のもと実施しますので、募集の消去ソフトウェア及び消去サービス事業者は ADEC の認証を受ける必要があります。

平成 30 年 6 月 7 日 (木)

### 初参加の 8 社を含む、20 社/団体が参画！ CEATEC JAPAN 2018 主催者特別企画「IoT タウン 2018」、昨年比 2 倍のスペースでの展開が決定

一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)、一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)、一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)、の 3 団体で構成する CEATEC JAPAN 実施協議会は、本年 10 月 16 日(火)から 10 月 19 日(金)の会期で開催される「CEATEC JAPAN 2018」(会場：千葉市・幕張メッセ)において、主催者特別企画「IoT タウン 2018」を展開します。本日時点で、CEATEC JAPAN 初参加の 8 社を含む、20 社/団体の参画が決定しました。本年は昨年比で約 2 倍となるスペースで展開する予定です。

# 報告書

## 中小企業での IT 利活用によるテレワーク実現に向けたガイドライン（在宅勤務編）

### 【働き方改革研究会活動報告書】

2017年2月に公表しました「働き方改革宣言」に基づき、働き方改革研究会がとりまとめた活動報告書。この中に、中小企業でのIT利活用によるテレワーク実現に向けたガイドライン（在宅勤務編）（以下、「本ガイドライン」）を策定・公表しています。

本ガイドラインは、CSAJ会員及びIT企業を対象に、働き方改革でいわれる多様な働き方の一つである、ICTを活用した時間や場所を有効活用できるテレワークの在宅勤務に焦点を絞り、テレワーク実現に向けた気づき、心得のような形でまとめました。

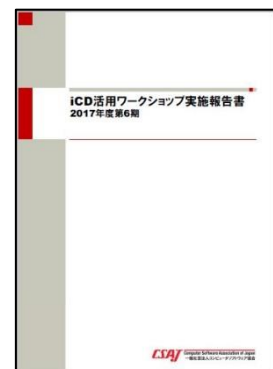
テレワークは、在宅勤務、サテライトオフィス勤務、モバイルワークなどに分類され、さらに会社の規模、ICTへの知識や取り組み状況、従業員の職種などにより、多種多様な状況が考えられ、いわゆるガイドラインとして教科書的にこれだけ守っていれば良いというものを作り上げることが非常に困難であるため、本ガイドラインを自社の課題解決の一助として、利用いただくことを想定しています。



## 第6期 i コンピテンシ ディクショナリ活用ワークショップ実施報告書を公開

iCD研究会（主査：木田徳彦 CSAJ 理事・株式会社インフォテック・サーブ 代表取締役）は、平成29年7月から9月までの間に全6回行われたワークショップの実施内容や各企業の成果についてを報告書としてまとめ、公開しました。

1. i コンピテンシ・ディクショナリ活用ワークショップ実施の背景と目的
  1. i コンピテンシ ディクショナリ活用ワークショップ実施の背景
  2. iCD 活用ワークショップの目的と期待効果
2. iCD 活用ワークショップの実施概要
  1. ワークショップのスケジュール
  2. ワークショップの概要
  3. 参加企業
  4. 実施体制
3. ワークショップの実施内容（各回の議事録を掲載）
  1. ワークショップ事前説明会
  2. 第1回&第2回ワークショップ
  3. 第3回ワークショップ
  4. 第4回ワークショップ
  5. 第5回ワークショップ
  6. 第6回ワークショップ
4. iCD 活用ワークショップの結果（企業別に掲載）
  1. 日本ナレッジ株式会社
  2. サクサ株式会社
  3. オー・エイ・エス株式会社
  4. 株式会社シー・シー・ダブル
  5. 株式会社テクノブレーン
5. iCD 活用ワークショップの評価と今後の取り組み
  1. ワークショップの総合評価
  2. 今後の取り組み



# 報告書

## CSAJ ドローン・プログラミング・コンテスト実施報告書

CSAJ ドローン・プログラミング・コンテストは6月にプレイベント、12月から応募受付を行い、3月に最終審査会（プレゼン審査、実技2種）を実施、各賞を決定しました。

「空の産業革命」と言われ、現在世界中で開発競争が激化するドローンの分野において、今後の成長に欠かせないのは測量、輸送、農業支援等それぞれの用途に向けた制御系アプリケーションの開発です。

これらのアプリケーションは高度なプログラムの集大成として、安全性を確保し、精密計測や精密制御を実現するため、こうしたドローン・プログラム開発者の育成は喫緊の日本の大きな課題のひとつです。

ドローンプログラミングコンテストは、ソフトウェアベンダーの業界団体であるCSAJが、広く一般・学生を対象として、ドローン・プログラムの開発者競技の主催・表彰を行うことで、高度なドローン・プログラム開発者の育成し、市場の拡大に貢献することを目指しました。

今回のコンテストでは応募4チーム、競技参加3チーム（1社辞退）での競技の結果、優勝：河野浩之（こうのひろゆき）氏、準優勝：慶應義塾大学武田研究室 テクノプロ・デザイン社、3位：株式会社理経の結果となりました。

上記結果を踏まえた「CSAJ ドローン・プログラミング・コンテスト」実施報告書を取りまとめました。



# 実施事業

## プライバシーマーク審査事業

### 1. プライバシーマーク審査判定委員会 (2018年4月～6月)

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、プライバシーマークの付与適格性審査や個人情報事故措置審議を行う第三者委員会として、2018年4月から6月に計3回の委員会を開催し、付与適格決定39社(更新25社、新規14社)、個人情報事故措置9件を決定致しました。

### 2. 2018年度プライバシーマーク審査事業実施状況 (2018年4月～6月)

	更新	新規	合計	合計値 前年度対比	入会 数	他審査機 関からの 乗換	更新辞退 /退会/ 審査機関 変更	Pマーク 実質増減数
2017年 度実績	89社	53社	142社	129.1%	57社	0社	28社	25社
2018年 度経過	36社	15社	51社	56.7%	26社	0社	1社	14社

※実績は、審査中を含む。

### 3. 申請様式、申請方法、審査料等

申請様式、申請方法、審査料等については、以下のURLをご参照下さい。

<http://www.csaj.jp/activity/project/pmark/index.html>

## 実施事業

### U-22プログラミング・コンテスト 2018



U-22プログラミング・コンテストは、1980年から経済産業省の主催により、イノベティブなIT人材の発掘と育成を目的として開催されてきました。2014年からは民間へ移行し、現在は、日本からイノベーションを創出するIT業界のスター、世界でも活躍していくような若者を見つけて、応援したい、そんな思いに賛同いただいた、民間のIT・ソフトウェア業を中心としたスポンサー企業によって構成される「U-22プログラミング・コンテスト実行委員会」（実行委員長：青野慶久 サイボウズ株式会社 代表取締役社長）が主催、CSAJが運営事務局として、歴史あるプログラミング・コンテストを継承し、更なる発展を目指し、実施しています。

### 2018年テーマ

## 世界は君の創造次第。

「U-22プログラミング・コンテスト2018」は、4月2日に応募要領を公開し、7月から応募受付を開始しています。

2020年からスタートする初等教育におけるプログラミング教育の必須化に伴い、昨年は小学生部門を新設しましたが、今年は全国小中学生プログラミング大会と連携し、裾野の広がりから頂点にむけ、更なる発展を目指します。

最終審査会は今年もニコニコ生放送にて放送を予定していますので、日本の未来を担う若者の活躍を是非ご覧ください。（※配信先リンクなどは公式Webサイトで公開予定です）

U-22プログラミング・コンテスト公式Webサイト：<http://www.u22procon.com/>



# 実施事業

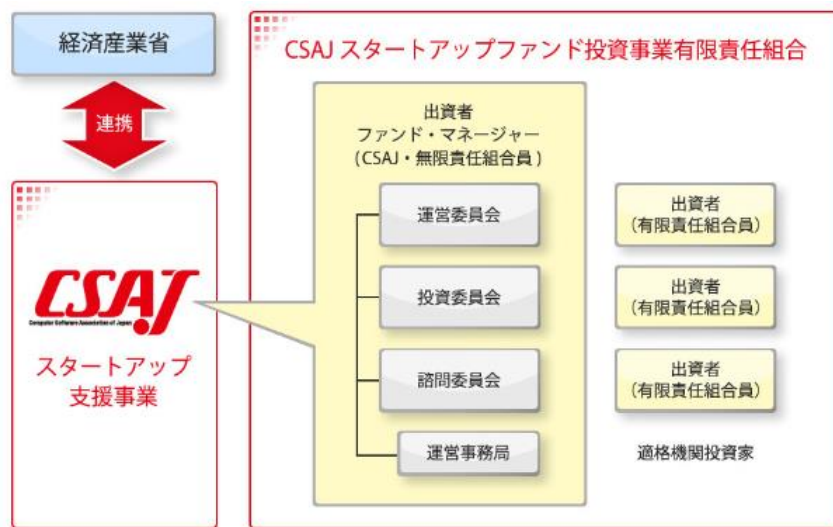
## CSAJ スタートアップ支援事業

ソフトウェア分野でベンチャー成功者を会員に多く持つ CSAJ の特色を生かし、今後、排出される有能な IT 関連起業家の発掘とその支援を行う「CSAJ スタートアップ支援事業」を平成 27 年度より開始しています。

2018 年も一次募集を 4 月～7 月、二次募集を 10 月～翌 1 月にかけて行います。現在エントリー企業を募集しています。

エントリー企業の累計は、64 件（2015 年：21 件、2016 年：20 件、2017 年：19 件、2018 年：1 件）となっており、2018 年 6 月末までに、投資委員会において今後の成長が見込まれる 20 社が選定されました。

CSAJ スタートアップ支援公式サイト <http://www.csajstartup.com/>



支援先企業 20 社（2018 年 6 月時点）



## 実施事業

### PSQ 認証制度事業



ISO/IEC 25051:2014

JIS X 25051:2016 (ISO/IEC25051:2014) の国際規格に準拠したパッケージソフト・クラウドアプリケーションの「安心・安全・高品質」の見える化を実現した制度です。会員に限らず、パッケージソフト・クラウドアプリケーションを保有するすべての企業を対象にしています。

#### ■PSQ 認証制度

<http://www.csaj.jp/activity/project/psq/index.html>

### 1. 平成 29 年度 PSQ 認証製品 (更新含む) 実施状況 (平成 30 年 1 月~3 月)

PSQ 認証制度では以下を認証 (更新含む) しました。

認証番号	申請者	製品名	バージョン	認証年月日
PSQ-Q2018002	日本ナレッジ(株)	IVEX Xexus 統合管理版	1.0.0	平成 30 年 3 月 15 日
PSQ-Q2018001	日本ナレッジ(株)	IVEX Logger SILVER	5.4.0	平成 30 年 3 月 15 日

### 2. ソフトウェア品質向上研究会の実施状況 (平成 30 年 1 月~3 月)

第 7 回研究会

日 時: 2018 年 2 月 27 日 (火)、CSAJ 会議室、参加実績: 10 社 15 名

概 略: 「ソフトウェア品質特性マップ」の作成

「品質イメージ」のソフトウェア品質(副)特性への対応づけ

ソフトウェア品質特性から見た、対象ソフトウェアの品質上の課題の検討

とりまとめ



# 準会員（期間限定無料会員）が最大2年へ！

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）では、ベンチャー企業支援の一環として、一定の資格・条件を満たす企業に対し、期間を限定し年会費（入会金を含む）を無料とする準会員制度（期間限定無料会員制度）を平成11年8月より実施しております。

2018年4月より、ベンチャー企業に対する支援を拡充するため、準会員の会員対象期間を最大1年から最大2年に変更することといたしました。本制度により、多くのベンチャー企業が準会員としてCSAJに参加し、様々な活動や交流を通じて、各社のビジネスを活性化させることと存じます。

ご入会をご検討中の企業がいらっしゃいましたら、ぜひ、本制度をご活用くださいますよう、ご案内申し上げます。

変更前		変更後	
4月～9月入会の場合	翌年3月末に期間満了	4月～翌3月入会の場合	翌々年3月末に期間満了
10月～翌年3月入会の場合	翌年9月末に期間満了		

## 【準会員の入会条件】

独自のソフトウェアプロダクト（システム、パッケージ）を開発（カスタマイズを含む）又は販売、若しくは係るサポート・教育等のサービスの提供などを事業とする企業等

1. CSAJへの入会（正会員）を検討していること
2. 年間売上高1億円未満、又は従業員20人未満であること
3. 連絡・案内等がE-mailにて通信が可能であること
4. CSAJが実施するアンケート調査等に積極的に協力すること
5. 総会において議決権はない

## 【実施可能なこと】

- ・最長2年間 年会費無料（入会金を含む）
- ・正会員への入会（移行）時、入会金を免除
- ・正会員と同等な情報やメリットを提供
- ・アライアンスビジネス交流会でのプレゼンテーション機会の提供（会員価格適用）
- ・各種の説明会やセミナーなどへの無料参加（但し一部を除く）
- ・報告書等の書籍の購入は、会員価格で可能
- ・交流会・懇親会などは、有料にて参加可能

準会員の入会条件に満たない企業は正会員でのご入会をお願いします。なお、既存の会員企業からのご紹介の場合、[会員拡大キャンペーン](#)が適用可能です。

ソフトウェアで世界に挑む。  
そんな「スタートアップ企業」を  
募集します。

起業・創業成功者が創業者の視点で  
新たなスタートアップをサポート！



## CSAJ スタートアップ支援事業 2018年スタートアップ企業の二次募集は10月より開始

ソフトウェア産業の発展を目的に設立されて30年、ソフトウェア分野での起業経験者・成功者が多数在席する一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）が、「世界を変える革新的なソフトウェア」を生み出すスタートアップ企業に対して手厚い支援を提供します。起業を考えている、または、起業後に次のステップを踏み出したいベンチャー創業者は、奮ってご応募ください。

募集期間	一次募集 2018年04月01日～2018年07月31日（締め切りました） 二次募集 2018年10月01日～2019年01月31日
応募要件	地 域：日本国内に本店を置いて事業を行う企業またはチームであること。 業 種：ソフトウェアを中核とした技術系スタートアップ企業またはチームであること。 事業内容：ソフトウェアを中核とする事業であること。 規 模：原則として小規模であること。
全体の流れ	募集から採択、投資開始、教育（支援プログラム）、発表、EXIT等までの流れ 
CSAJ ファンドからの出資	1. シード期の初期投資：300～1,000万円を想定（取得株式：5～10%を想定） 2. 成長の期待できる企業への追加投資：1,000～5,000万円を想定（取得株式比率は相談）
エントリー	エントリーシートをダウンロードし、必要事項をご記入の上、事務局までメールでご送付ください。
お問合せ先	CSAJ 担当：井上、中野 E-mail：startup-info@csaj.jp TEL：03-6435-5702 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル 4階

詳細はスタートアップ公式サイト（ <http://www.csajstartup.com/> ）をご覧ください

# U-22 プログラミング・コンテスト



## U-22 プログラミング・コンテスト 2018 スポンサー企業、応援団大募集！

U-22 プログラミング・コンテスト 2017 は、過去最多となる 334 件の応募（参加者総数 1,236 名／昨年対比 1.6 倍）の中で、16 作品が入賞しました。2016 年からニコニコ生放送を実施、毎回 30,000 を超える方に視聴いただいています。

「第 4 次産業革命」とも言われるこの現代では、あらゆるサービスがインターネットにつながり、新しい技術によって日々進化しています。そのような世界では、新しい価値を生み出し、活用する、これまでとは異なる人材が求められています。IPA の発刊する IT 人材白書 2018 においても、価値創造型のビジネスが増え、「独創性・創造性」や「デザイン力」など、新たなスキルが必要とされているという結果が発表されています。

当コンテストは、自分のアイデアをカタチにすることの楽しさを経験し、将来新たな価値を生み出すことができる IT 人材の発掘・育成を目的に開催しています。そのような人材が IT 業界に興味をもつことによって、IT 人材不足を補うとともに、国内の成長につながらばと思う次第です。

協賛各社にとっても、優秀な人材の確保、企業名の認知度向上、企業イメージや好感度の向上、社会貢献（次世代の人材育成）などさまざまなメリットがあります。また、協賛いただくランクに応じて、実行委員会・審査会・懇親会へ参加するなどの複数の特典もご紹介します。

当コンテストを通じて、日本の若者を一緒にサポートしていただく企業様を広く募集しています。

▼参考：2017 年の様子

[U-22 プログラミング・コンテスト 2017 公式 Web サイト](#)

[U-22 プログラミング・コンテスト 2017 最終審査会](#) (Movie)

[U-22 プログラミング・コンテスト 2017 実施報告書](#) (会員限定)

※会員限定ファイルは閲覧に会員共通ユーザ名、パスワードが必要です。



公式 Web サイト

### 【スポンサー一覧】

内容/ランク	プラチナ 300 万円	ゴールド 200 万円	シルバー 100 万円	ブロンズ 50 万円	応援団(小口) 5 万円
1. 実行委員会への参加	○	○	-	-	-
2. 審査委員会への参加	○	○	-	-	-
3. 企業賞の実施	○	○	-	-	-
4. 最終審査会 CM 枠提供	○	○	-	-	-
5. 表彰式・懇親会参加	3 名まで	2 名まで	2 名まで	1 名まで	-
6. パンフ・ノベルティ等の配布 ※最終審査会	○	○	○	○	○
7. 制作物への社名掲載 (Web、DM、ポスター等)	ロゴ大	ロゴ中	ロゴ小	社名	△ Web 社名掲載
8. 会社見学会の実施	○	○	-	-	



## 品質の見える化

PSQ認証制度は、世界に通用する国産ソフトウェア製品の品質を認証するしくみです。

### PSQ 認証制度 申請製品募集中！

ソフトウェア製品品質の国際規格 ISO/IEC25051:2014 に準拠した第三者適合性評価で、貴社製品をもっとアピール！

PSQ 認証制度は、CSAJ が国産既製ソフトウェア製品の品質の高さを世界で通用することを証明するために制定した認証制度で、国際規格である ISO / IEC 25051:2014 に準拠しており、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の「ソフトウェア品質説明のための制度ガイドライン」に沿った品質認証制度です。

これまでに 23 社 39 製品が認証を取得しています。ソフトウェア製品（パッケージ/クラウド）をお持ちの企業は、ぜひ本認証を取得し、品質をアピールしてください。



ISO/IEC 25051:2014

認証申請、お問い合わせ先（PSQ 認証制度、マイナンバー対応ソフトウェア認証制度）

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 PSQ 認証室

TEL:03-3560-8452(部門直通) E-mail:psq\_info@csaj.jp

**マイナンバー制度の利活用はこれからです！  
「マイナンバー対応ソフトウェア認証制度」申請製品募集中！**

業務ソフトウェアとして「マイナンバー対応」を謳うなら！

CSAJ では、政策委員会/マイナンバーワーキンググループが定めた「マイナンバー評価シート」を基に、個人番号を直接扱う業務ソフトウェアが実装すべき機能について、第三者が実装確認・認証する制度をスタートしました。

これまでに 12 社 19 製品が認証を取得、製品パッケージや Web サイト、カタログ等で積極的なアピールを展開しています。

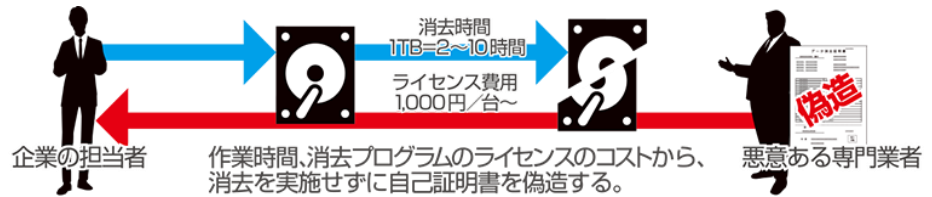


# データ適正消去証明書発行事業



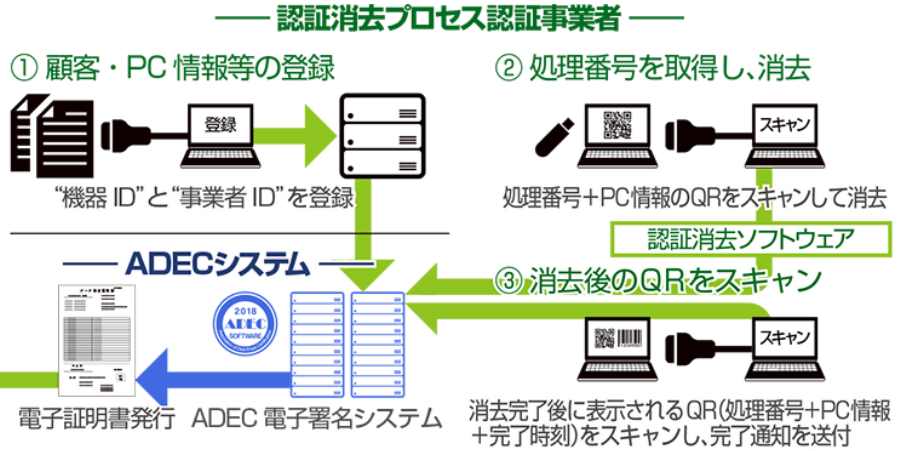
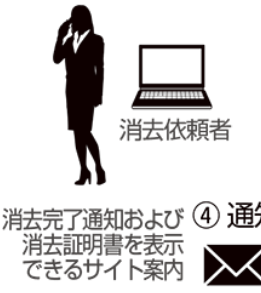
データの適正な消去のあり方を調査・研究し、その技術的な基準を策定するとともに、これに基づいてデータの適正消去が実行されたことを証明するための第三者的な証明制度の普及・啓発を図り、もって我が国における健全で安心安全な循環型 IT 社会の実現に寄与することを目的として設立された「データ適正消去実行証明協議会(略称 ADEC)」からの委託を受け、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会では、「データ適正消去実行証明書」を発行します。一般社団法人コンピュータソフトウェア協会が、第三者として「データ適正消去実行証明書」を発行することにより、より健全で安心安全な循環型 IT 社会の実現を目指していきます。

## 問題



**消去事業者の作業報告書(自己証明書)では、作業を実施したか確認できない。**

## 解決



**第三者が証明することで、適正な消去を行ったことが証明できる。**



ADECで認証された「消去ソフトウェア」のメーカーおよび「消去サービス事業者」として認証された企業様と協力し、パソコン等のデータが適正に消去されたことを証明する「データ適正消去実行証明書」を発行します。

# CEATEC<sup>®</sup> JAPAN

— CPS/IoT EXHIBITION —

つながる社会、共創する未来

# 2018

10.16(火)▶10.19(金)

2016年、CEATEC JAPAN は、家電見本市の枠を超えた、日本の成長戦略や未来を世界に向けて発信する総合展示会に生まれ変わりました。

2018年、15万人以上の幅広い産業のフロントランナーが集結する新生 CEATEC JAPAN は、さらなる進化を遂げようとしています。

あらゆる産業・業種の「共創」によるビジネス創出を基本にして、未来への「種」を披露・発信し、未来への「糧」を得る場へと変革することで、経済発展と社会課題の解決を目指す「超スマート社会(Society 5.0)」の実現に向けた、社会的な需要の創出を加速させる総合展示会として進化します。

また「政策」「産業」「技術」が連携する日本随一の総合展示会として、未来を創造していくためのモデルケースを世界に向けて発信します。

名称	CEATEC JAPAN 2018 (シーテック ジャパン 2018) (Combined Exhibition of Advanced Technologies)
会期	2018年10月16日(火)～19日(金) 午前10時～午後5時
会場	幕張メッセ 千葉市美浜区中瀬 2-1
入場	全来場者登録入場制
主催	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ) 一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA) 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)



持続可能な経済成長を実現する最新テクノロジー  
と価値あるサービス提案を CEATEC JAPAN から

CEATEC JAPAN は、アジア地域最大級の IoT 展示会として、テクノロジーの観点から持続可能な開発目標 (SDGs) を達成し、持続可能な経済成長に向け、取り組む企業を IoT タウンで紹介します。



※イメージです。

CSAJ 会員限定 サテライト・オフィス

# CSAJ サテオ

## CSAJ サテオとは？

会員向けに提供しているコワーキングスペース「CSAJ サテオ」をこれまでの4階から3階に場所を移し、より会員の皆様に使いやすくリニューアルしました！

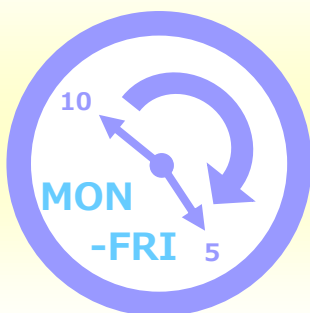
オフィス仕様から、フリーアドレスを意識したレイアウトになりました！

向かい合わせのソファ席や打合せにもご利用可能な大きなデスクもご用意しております。もちろん、Free Wifi や電源はこれまで同様にご利用いただけます！

CSAJの「働き方改革宣言」を会員企業が実践するにあたって、コワーキングスペースを利用することで外出中の移動時間を有効に活用するだけでなく、同スペースで会員同士から生まれるコラボレーションにも期待しています。

会員の皆様のサテオご利用を心よりお待ちしております。

## <利用概要>



※但し、CSAJの営業日に準じます



※CSAJ 会員限定  
※予告なく終了する可能性があります

詳細は会員専用 Web ページをご参照ください (閲覧にはID とパスワードが必要となります)

<http://www.csaj.jp/member/coworkingspace.html>

